

幸区の魅力・
区政情報は
こちらから



Instagram (川崎市幸区アカウント)



YouTube (川崎市幸区チャンネル)

絵本作家

2026年は生誕100周年!

かこさとしさんを知っていますか?

現在の福井県越前市生まれ。絵本「だるまちゃん」とてんぐちゃん」など600点余りの作品をのこした絵本作家。大学卒業後、昭和電工(現在の株式会社レゾナック)に入社し、24歳の時に幸区に転居。仕事のあと、夜遅くまで紙芝居を手作りし、日曜日には三角ひろば(現在の古市場第2公園:地図F3)などで子どもたちに披露していました。こうした幸区での地域活動の経験が、かこさんの絵本作家としての原点となりました。



かこさとし
(1926~2018)

撮影:村上佐由紀

幸区は川崎市誕生の地!?

川崎市のもととなった御幸村は明治天皇が梅の名所であった小向梅林に(行幸)御幸されたことにちなんで名付けられました。その村名を引継いで、「幸多い」地域にという願いから昭和47(1972)年に川崎市が政令指定都市に移行した際に「幸区」が誕生しました。

幸区の区章・シンボルマーク



幸区の頭文字「S」と無限大のマークをイメージしています。二つの輪は、区民の深いつながりと伸びゆく情報発信を表し、地域の温かい人情と未来都市への無限の可能性にあふれた区(まち)を象徴しています。区制20周年事業により決まりました。(平成5年1月1日制定)

面積

10.09km²

7区中最小



人口

175,559人

令和8年1月1日現在
7区中最小



世帯数

85,593世帯

令和8年1月1日現在
7区中6位



町内会・自治会加入率

63.7%

令和7年4月1日現在
7区中1位



イベントカレンダー

春

夢こんさあと

どなたでも気軽に良質な生の音楽を楽しんでいただけるランチタイムコンサートです。幸区内の身近な場所で、年8回程度開催しています。



日吉市・さくらフェスタ日吉

毎年3月に日吉合同庁舎一帯で開催されるお祭りです。「日吉市」は、地域の賑わい創出を目的に日吉地区の町内会・自治会が主催しており、昔遊びやシャボン玉など、子どもが気軽に楽しめる内容です。幸市民館日吉分館で活動している団体の活動発表会「さくらフェスタ日吉」と同日開催しています。



夏

幸区ポッチャ大会

96チーム288人の選手が参加する市内最大規模のポッチャ大会です。実行委員会主催の手作りの大会で大いに盛り上がります。優勝チームには川崎市のポッチャ大会への出場権のほか、協賛企業・団体様からの賞品も贈られます。



秋

科学とあそぶ幸せな一日

慶應義塾大学、かわさき新産業創造センターと連携し、研究開発拠点「新川崎・創造のもり」を会場にした、子どもたちが科学の面白さを体験できるイベントです。



さいわいにぎわいフェス

川崎駅西口周辺の事業者や地元町内会・商店街等と連携し、子どもから大人まで多世代が楽しむことができるイベントを開催します。



幸区民祭



幸区民みんなが楽しみ盛り上がるお祭りです。毎年、幸区役所や周辺施設を会場に、地域の団体の皆さんで作られる実行委員会主催で開催されています。

はぴ☆こん



音楽等の楽しむ機会を通じて、お互いを理解・尊重し、多様性を受け入れる「心のバリアフリー」を進めることを目的に開催する誰でも気軽に楽しめるコンサートです。

冬

観梅会

御幸公園では、梅の開花時期に合わせて、地域の方々と一緒に梅を楽しむイベントを開催しています。



さいわいハナミスズキコンサート

川崎市にゆかりのある音楽活動団体に演奏の機会を提供するとともに、多くの方々に音楽に親しんでいただくことを目的としてミュージアム川崎シンフォニーホールにてコンサートを開催しています。

